Creative Enzymes®

ネイティブ牛デオキシリボヌクレアーゼI

Cat. No. NATE-0198

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	デオキシリボヌクレアーゼ I（通常 DNase I と呼ばれる）は、ヒト遺伝子 DNASE1 によってコードされるエンドヌクレアーゼです。DNase I は、ピリミジンヌクレオチドに隣接するリン酸ジエステル結合で DNA を優先的に切断し、3' 位に自由水酸基を持つ 5'-リン酸終端ポリヌクレオチドを生成し、平均してテトラヌクレオチドを生成します。これは、一本鎖 DNA、二本鎖 DNA、およびクロマチンに作用します。□棄物管理エンドヌクレアーゼとしての役割に加えて、アポトーシス中の DNA 断片化に関与するデオキシリボヌクレアーゼの一つであると考えられています。
用途	タンパク質サンプルからDNAを除去するために使用されます。DNAse Iは、ラベル付き塩基をDNAに組み込むための最初のステップとしてDNAを切断するために使用されます。Creative Enzymesの酵素は、ラット脳組織の処理に使用されました。この研究では、アストロサイト上の軸索成長がオリゴデンドロサイトによって抑制されないことが示されました。別の研究では、解凍された固定E. coliサンプルがCreative EnzymesのDNAse Iと他の酵素で消化されました。消化は、核酸の透過性を高める前と染色の前に行われました。牛膵臓由来のデオキシリボヌクレアーゼIは、バチルス・サブチリスにおけるヌクレアーゼの二次元ゼイモグラム分析を調□する研究で使用されました。牛膵臓由来のデオキシリボヌクレアーゼIは、マイナーグルーブ結合□およびインターカレーターがマイナーグルーブ結合タンパク質RecAおよびデオキシリボヌクレアーゼIのDNA結合に与える影響を調□する研究でも使用されました。
別名	DNASE1; デオキシリボヌクレアーゼ I; デオキシリボヌクレアーゼ-1; DNase I; 9003-98-9; EC 3.1.21.1; 膵臓 DNase; DNase; チモヌクレアーゼ, ドルナーゼ; ドルナバ; ドルナバック; 膵臓デオキシリボヌクレアーゼ; 膵臓ドルナーゼ; デオキシリボヌクレアーゼ (膵臓); 膵臓 DNase; DNAase; デオキシリボ核酸ホスファターゼ; アルカリ性デオキシリボヌクレアーゼ; アルカリ性 DNase; エンドデオキシリボヌクレアーゼ I; DNA デポリメラーゼ; 大腸菌エンドヌクレアーゼ I; デオキシリボヌクレアーゼ A; DNA エンドヌクレアーゼ; DNA ヌクレアーゼ

製品情報

種	ウシの
由来	牛膵臓
形態	カルシウム塩化物を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.21.1
CAS登□番号	9003-98-9
分子量	mol wt ~31 kDa
活性	> 2,000クニッツ単位/mgタンパク質; > 400クニッツ単位/mgタンパク質; > 2,000単位/mgタンパク質
緩衝液	0.15 M NaCl: 可溶性 5.0 mg/mL、透明、無色
機能	アクチン結合; デオキシリボヌクレアーゼI活性; エンドデオキシリボヌクレアーゼ活性
単位定義	1 Kunitz単位は、pH 5.0、25°Cで、基質としてDNAタイプIまたはIIIを使用した場合、1 mLあたり1分間にΔA260が0.001を生成します。[Mg2+] = 4.2 mM。

保管・発送情報

保存方法	−20°C

保存方法	-20°C